



美世志会とともに
未来を切り拓く
6・21大集会

えん罪に加担し、憲法を踏みにじった最高裁 美世志会の名誉回復を！

本物の労働運動と平和運動を広げ、えん罪のない社会を目指そう

J R 東労組とえん罪 J R 浦和電車区事件を支援する会は6月21日、「えん罪に加担した最高裁決定弾劾！ 美世志会とともに未来を切り拓く 6・21大集会」を「さいたま市民会館おおみや」で開催した。集会ではあたりまえの組合活動をおこなった美世志会の活動は一つ強要でないと、改めて美世志会の無実が訴えられた。そして上告棄却を弾劾し、美世志会の名誉回復を求めて闘おうと意思統一をおこなった。

来賓からは J R 総連・武井委員長と福岡事件の古川龍樹氏が挨拶。作家の魚住昭氏の講演がおこなわれた。

今回の報告集会には組合員ら 1,200 名が結集。上告棄却を弾劾する各地での集会は、4月から29箇所で開催され、のべ8,000名が参加したことになる。

美世志会からは、事件発生から9年8ヵ月にわたる闘いと支援へのお礼と、一生かけて無実を晴らすといったそれぞれの生き様も含めた決意と、えん罪のない未来をつくり上げようという訴えがおこなわれた。



【主催者あいさつ】

J R 東労組・柳原周次郎副委員長／支援する会・飯沼勝男会長

【来賓挨拶】

J R 総連・武井政治委員長／福岡事件・古川龍樹氏



【講演】作家・魚住 昭

魚住氏からは、美世志会とのめぐり合いと、なぜ浦電事件が起これ、J R 総連・J R 東労組への革マル宣伝をはじめとした弾圧がおこなわれたか、そして警察・検察・裁判所の歴史的な生い立ちが紐解かれ、弾圧のつくれる構図がわかりやすく語られた。



←（左から）
弁護団長・水嶋晃
弁護士からの報告
／浦電分会・山口
哲広分会長からの
お礼／ J R 東労
組・盛岡地本・新
谷友晴地青常任委
員から集会アピ
ール／支援する会
事務局長・船田功
氏の閉会挨拶